

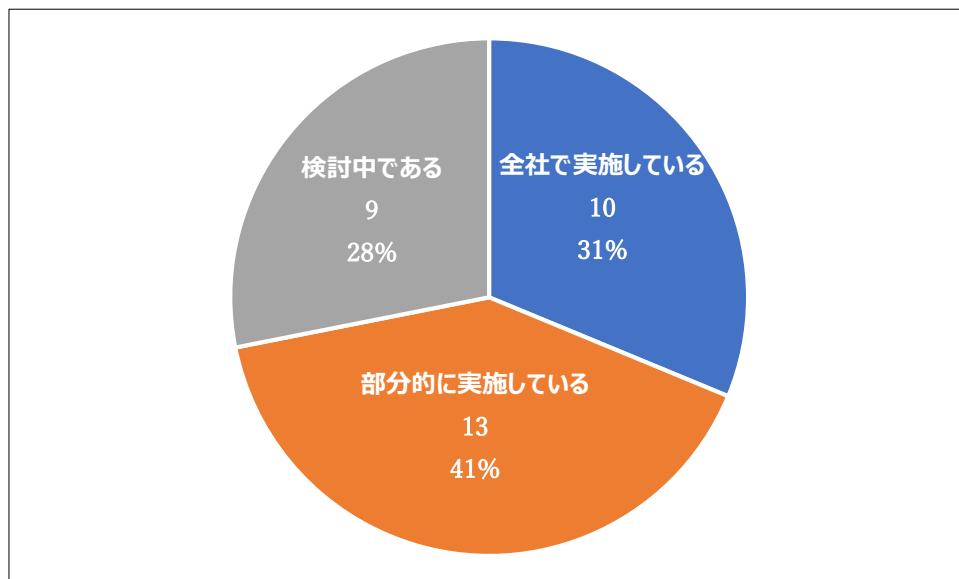
新型コロナウイルスに伴う、在宅勤務（テレワーク等）についてのアンケート

実施期間：4月2日(木)～4月6日（月） 対象社：OAC会員のうち広告制作に携わる104社

回答社数：32社（回収率：30.1%）

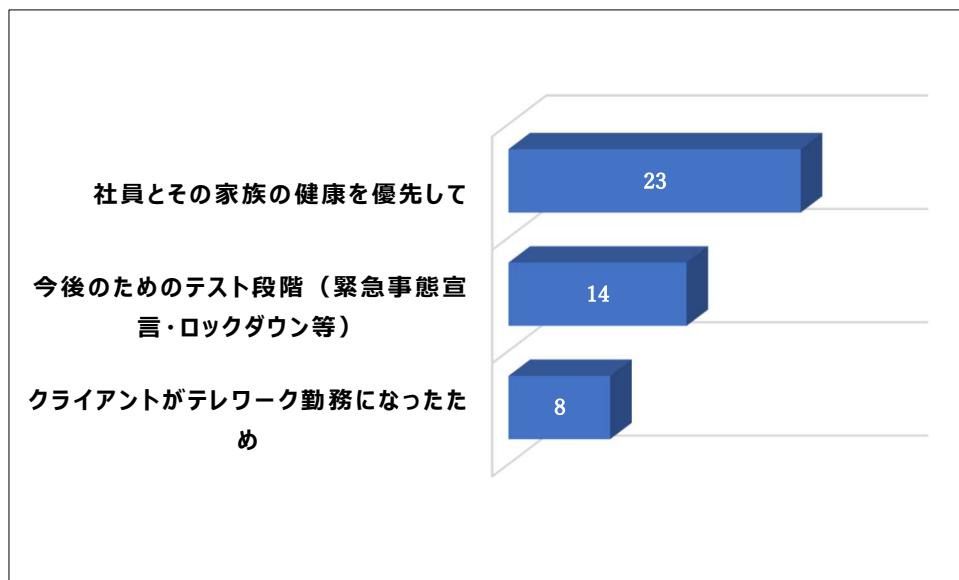
回答数の推移：4月3日(金)までに29社回答、4月5日(日)1社、4月6日(月)2社

1. テレワークは実施していますか？



2. 実施している（部分的実施含む）と回答された方にお聞きします。

実施の背景に関してお答えください（複数回答可）

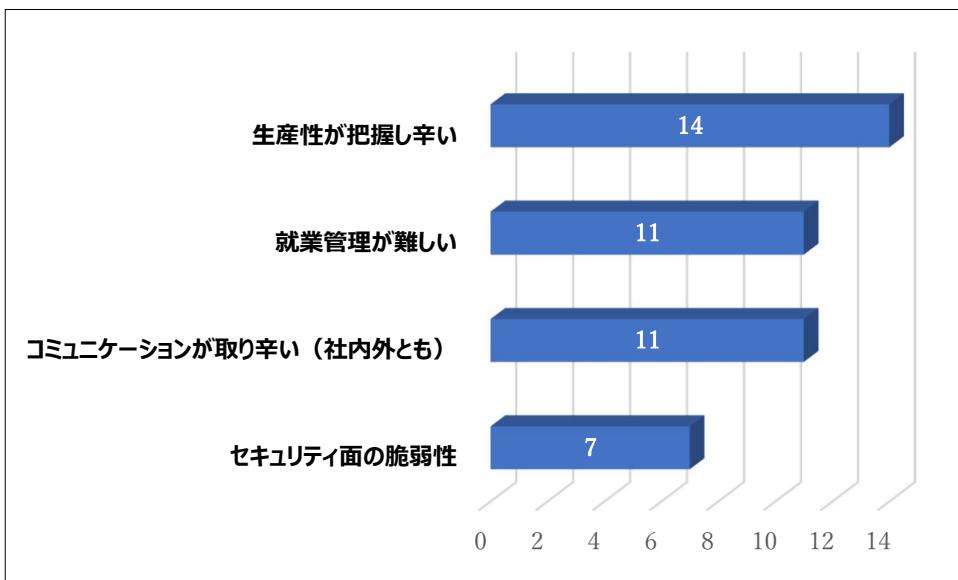


その他意見

- 近隣施設で感染者発生のニュースがあり、社員からの要望もあって。
- オリンピック期間中の混雑を避けるためリモートの準備をしていた
- 働き方改革の一方策として

3. 実施している(部分的実施含む)と回答された方にお聞きします。

見えてきた課題は何でしょうか？(複数回答可)



その他意見

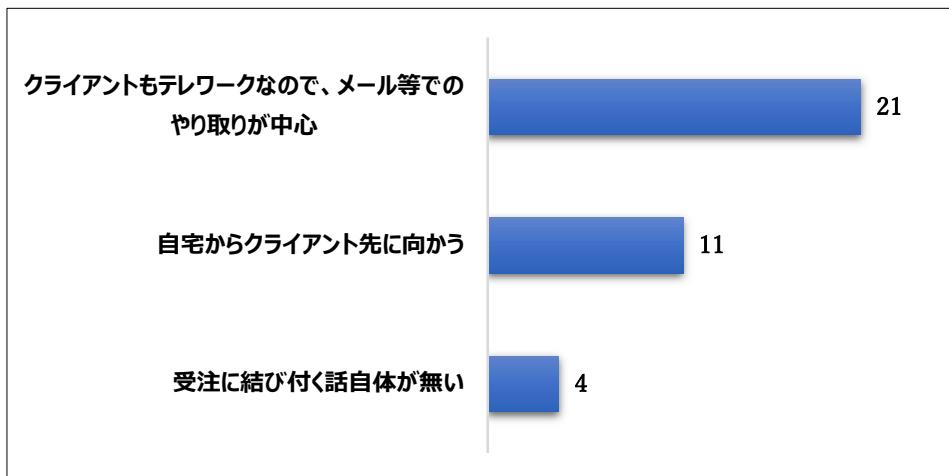
- ネット環境や電話（携帯不支給のため）
- 電話対応、郵便物、書類関連などのため出社が必要
- 紙での出力・スキャニングが必要なのでプリンタ、スキャナーの問題
- 多忙な部署(人)とそうでない部署(人)の差が大きくなった印象
- ディレクターの持つ案件数が多く、デザイナーへの指示、やりくりが大変
- 始めたばかりで、これから検証へ

4. 逆にやってみて良いと思われる点は何でしょう？

- 在宅でも効率は下がるがある程度対応可能ということがわかり、今後の役に立つ情報が集まつたこと。
- 止むを得ない措置なので積極的に良い点は見当たらない。但し今後の就業形態がこれを機に変化していくと思われる。違う力学で「働き方改革」が新しいフェーズに入ると思う。
- 都心にオフィスを構える必然性がない時代が早まる可能性を感じる
- 仕事とは何かという点を再度考えさせられる。

- 通勤ストレスの解消、時間管理を徹底する意識が高まった
- 感染リスクが下がる。在宅でもちゃんと回る仕事が多いことの再確認。
- 社員自信が安心している点
- 新しい働き方に取り組める
- どの社員とも満遍なくコミュニケーションを取るようになった点
- 無駄な会議が減る
- 新たな業務フローの確立や改善
- 今は本人のコロナに対しての安心感。
- ある程度のことは出来るということがわかった。
- 一番は通勤時間を使える。無駄な会話がなくなるので効率 UP!
- 育児や介護など、どの社員でも起こりうる状況に備えられる。
- 実際に実施してみると何とかなることが分かりました。
- 勤怠管理が厳しく行える
- まだ感じられず
- 現状ではあまり感じられません

5. テレワーク期間中の営業面についてお聞きします（複数回答可）



6. 部分的に実施していると回答された方にお聞きします。その部分とは何を指し、それに至った背景をお教えください。

- 弊社は大阪本社、東京支社の体制だが、大阪は以前から子育てで一部在宅を導入。今回の小学校休校でさらに小学生の子供を持つスタッフがリモートワークになった。東京は知事会見以降、交通機関を使わないと来られない人のみ在宅。いまのところ週に一度、金曜のみ、出勤にしている。

- DTP など制作に関しては、今まで状況に応じてリモートワークを行なっていたが、zoom 等を使用する会議や打ち合わせが増えた。経理関係や書類への捺印など、テレワークが無理な業務は出社しています。
- 自宅にネット環境がない、自宅だと仕事にならない、などに理由で、出勤する社員もいます。
- 本来は全社的に実施したいが、担当している案件によって社内でないと難しい案件もあるため。
- まずは導入ハードルの低い職種（非グラフィックデザイナー職）
- 可能なスタッフより順次実施
- クライアント事情（守秘義務の理由が大きい）で対応している。
- テレワーク優先でやっているが、どうしても社内でしかできない作業があるので、3人に一人ぐらいは出社してきてしまう。
- 社員の健康管理を念頭に、在宅での対応ができる人は積極的に行っていただく。
- 社内サーバのデータなど、完全に開放できていないので、社内に当番制で出社するようにし、社内サーバからのデータ共有が必要な際のハブ役を設けた
- 機密性の高い案件（金融系等）は社内作業優先のため。
- クライアントや関係スタッフとの調整ができることが前提になります。

7. 実施している(部分的実施含む)と回答された方にお聞きします。

その期間設定は、いつからいつまでに設定されていますか？

- 開始は 3 月 11 日から。3 月決算対応で 25 日～27 日だけ全員出社日にしましたが、30 日～テレワークを再開し、現時点で 4 月 12 日までをテレワーク期間としています。13 日以降もさらに延長するであろうと予想しています。
- 3 月上旬から緩やかにはじめ、3 月 30 日からは半強制にしています。期限は未定
- 3 月 16 日頃から実施。政府や自治体の判断を見据えた上で期間設定します。
- 3 月 27 日～4 月 12 日（東京支社：それ以降は未定）
- 3 月 30 日から終了時は未定。
- 3 月 30 日から 4 月 12 日
- 3 月 30 日から開始し、終了時期はコロナが落ち着くまでですので、先のことは未定です。
- 3 月末～2 週間程度
- 3 月下旬から、コロナが落ち着くまで
- 3 月 31 日から 4 月 12 日（状況次第では延長）
- 3 月 31 日から 2 週間で期限を切っているが、おそらく終息まで続けると思います。
- 4 月 1 日から 15 日の 2 週間を設定。状況に応じ変更もある。
- 4 月 1 日から、終了は未定。（自粛要請など、国の判断に準ずる）
- 博報堂(名古屋)が 4 月 1 2 日に設定しているため、4 月 1 2 日までとするが、状況に応じて変更可能性ありとの注釈付き。

- 4月2日から4月10日まで
- 4月2日～終了は未設定
- 現状お試し期間的にメリット、デメリットを探りつつ実施ですが、将来的に働き方改革の一貫として運用するために始めた事。コロナ騒ぎが始まったので加速させていますが、緊急事態宣言が発令されれば、"その期間"は原則全員実施。現在は、4月末まで（コロナ対応のため、延長を繰り返しています。）
- 期間はこの新型コロナが収束するまでと考えています。
- 未定：状況を見ている状況

8. 実施している(部分的実施含む)と回答された方にお聞きします。PCに関してはどのように対応をされていますか？（必要事項のみデスクトップに保存し作業・会社のサーバにアクセスできるようにしているなど、その方法など具体的にお教えください）

- 外部からのアクセスを遮断するセキュリティに入ってから作業。デザイナーはモバイルモニターを持ち帰り。個人情報を扱う際は資料が持ち出せないので出勤
- 社内サーバにデータを格納、ID、パスワードにてアクセス権を管理しています。
- 在宅で制作したデータをサーバにアップ、確認し、担当者同士でやりとり。
- デザイナーの一部は mac book にて作業、またはデスクトップ iMac を自宅へ運搬。データのやり取りは契約済の box を活用。
- 必要データを持ち帰り作業。自宅 PC での作業が不可能な社員には、会社の共有 PC を持ち帰ってもらう、もしくは会社で使っているデスクトップを自宅に持ち込んでもらうという対応をしています。
- 会社 PC と同じ環境のノート PC を全スタッフに支給。VPN を導入し、自宅からも固定 IP の必要なサービスへのアクセスを可能としている
- 従来からの AFP サーバ & Box の活用。
- 今のところ所員個人所有のものを使用してみて、不都合が生じれば会社から貸与を考えています。
- プロデューサーはノート持ち出し。デザイナーは会社 PC を持ち出し。
- 現在は必要データの持ち出しのみ。サーバへのアクセスは準備中
- 会社の PC を持ち帰りデータはクラウドを利用
- データは全てセキュリティ付きのサーバ保管 + バックアップ。通信異常や盗難時は遠隔でデータ削除し、社のシステムから端末を切り離せるようにしています。その他、セキュリティフィルタや携行用のバッグ等のフィジカルなツールも支給しています。
- PC を自宅に持ち帰る
- 全社員にノートパソコン（ソフト含む）、wi-fi 貸与 → 会社サーバでデータ管理
- デザイナー用のデスクトップはタクシーで持ち帰った。

- 会社から全て渡している PC を使用し、会社のサーバには案件によってアクセス権を持たせている。
- 一人ひとりがノートを持ち、サーバへのアクセスも可能。
- モバイル対応、および自分で使用している会社の機器を自宅に持ち帰っての業務対応。
- 事務所の予備機材（通常業務に使用しているモノと同じ機材）を社員自宅に配送在宅勤務者はノートパソコンを作業（元々会社貸与の PC はノート）。共有データについては office の OneDrive で共有管理。
- “仕掛け中のデータのみ” デスクトップに保存してパスワード管理をして持ち帰り作業。
- 全員ノート PC。Google Drive を活用。重いデータは外付 HDD を活用。
- 会社のサーバにアクセス、PC や USB に保存するなど

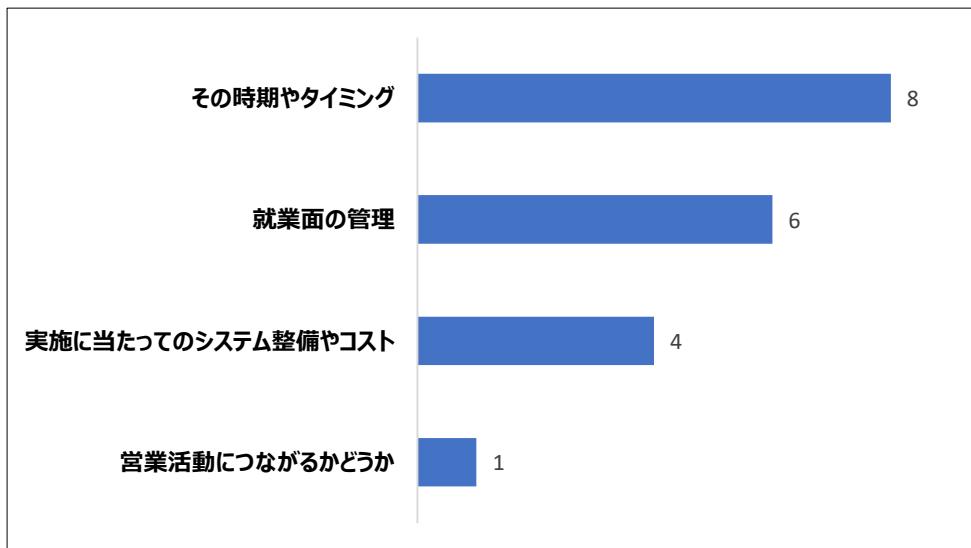
9. 実施している(部分的実施含む)と回答された方にお聞きします。コミュニケーションのためのツールは何をお使いになっていますか？また使ってみての感想をお聞かせください。

- Zoom（ミーティング）、Skype（チャット）、サイボウズ、メール
- これまで、Skype をテレビ電話的に 1 対 1 で行なっていましたが、複数人の会議では Zoom になりました。
- オンライン会議の場合は、通信速度が出ないともどかしさがあります。また、画面上のみでの確認となるので、認識・共有ミスが起こりやすいと感じます。逆を言うと、その点を考慮したうえで進めれば、なんら問題はありません。
- Chat work で全員とやりとり。
- 社内のやり取りは Zoom を利用予定。テスト運用では使えそう。
- 基本は電話とメール（会社貸与のモバイル）と Skype。それで対応できない会議等は時差通勤で出社しているので不具合の報告は今のところ無い。
- Slack、Zoom：以前から使用しており、非常に効率が良いので重宝している。リモートにはなくてはならないと考えています
- Chat work と Zoom。以前から使っているのでそんなに問題はないが、急ぎの時に相手がチャットを見ていない時などがある。
- 基本的にはメールと携帯電話ですが、作業自体だけで言えば、今のところ問題ない
- 電話、Google ハングアウト、Zoom
- Skype、Zoom、teams
- Slack、Google Suite
- SECURE、Prime、Google 関連、Zoom、Slack、LINE ビジネス、chat ツール、固定 IP へのアクセスツール等。その他にも使用頻度の低いツールも含めるとかなりの数を導入していますが、今はまだ便利さをある程度楽しめている段階
- Zoom 機器がそろわない

- Slack、Zoom、Whereby 設定までに少し時間がかかるが問題ない。
- Slack、メール。
- マイクロソフトの Teams。まだ使いこなせているとは言えない。
- 電話、メール、Skype など。
- メールと電話
- 社内は、Teams がメイン（チャット・テレビ会議）。社外に対しては Zoom。Teams は、office365 を導入しているため、以前より使用していた。Zoom は一部セクションで使用していたが、今回有料アカウントも導入し使用。急遽なこともあります、Zoom のレクチャーセミナーを実施したが、諸々はこれからな感じ。
- <オフィス 365> 非常に便利！！
- G-Mail、Google ハングアウト、Meet、CISCO Webex など。問題があれば臨機応変に別のサービスを使っています。
- メール、L I N E。今後は Zoom を活用しようと思っています。

10. 検討しているとお答えになった方にお聞きします。

課題になっている点は何でしょう？（複数回答可）



その他意見

- 来週より実施予定 セキュリティ管理 働き方改革の視点
- デザインやコピーだと Mac があれば家でもできると思われがちだが、話し合いを通して進行したり、すぐにディレクターに質問したい・確認してほしい若手も多い。
- 全社員に聞いたところ、全員が「出社しないと実際は仕事にならないであろう」という回答のため。
- 一人で顧客対応・制作や提案まで全てが高いレベルでできる人ならテレワークでも良いとは思うが、そのレベルでない場合は、無駄な待機時間が生まれ、効率がかなり悪くなる可能性も。

1.1. 現在の得意先関係のテレワークの現状をお教えください（直クライアント・広告会社含む 具体的な社名やその方法なども共有させていただけますと幸いです）

- NTT 関連、広告会社とも、希望者はリモートワーク OK。
- 役所関連は、窓口・電話対応業務があるため一部職員のみ。
- コールセンター業務のクライアントは、ほぼ 100%のコールセンター要員をテレワークへ移行中
- 広告代理店は、リモートワークが多い。
- 全クライアントが社員の半数出社と在宅勤務を入れ替えつつ、実施しているようです。
- 電通、博報堂は原則テレワークだが、その他の広告会社では通常勤務のところも
- 本田技研及びホンダコムテックは 2 月 27 日から 4 月 12 日までテレワーク。推奨ではなく原則在宅勤務が指令されています。ホンダモーターサイクルジャパンは、業態の本質が販売会社であるためか通常出社を継続中です。
- NTT ドコモでは全社員リモートになっています
- 週二回のテレワーク（オフィス事務用品会社）テレワーク推奨
- ほとんど出社している感じ（印刷会社）
- 電通テックは週 20 時間以内の出社制限
- 富士通・大成建設は部内での交代勤務、大成建設ハウジング様は出社時間のスライド制、その他もクライアントも就労時間の短縮や時差出勤をされています。
- 完全テレワークになった得意先はありません。推奨レベルで、実際には通常どおり出社
- クライアント自体はほぼ 100%実施中だが、担当者は 70 %ぐらいが在宅。
- 4 月 2 日現在、ほぼすべての得意先がテレワーク体制。飲食系の得意先は未実施
- 大手や中堅は交代出社、零細では全員在宅
- 東京のクライアントの多くはテレワークを実施中
- 東京は 7 割程度がテレワークになっている印象、会議はほぼ Web 会議となった
- 大半のクライアントが導入していますが、年度末、新年度ということもあり現状は出社している方も多いです。通常営業しており、いつも通り打ち合わせの希望を出す取引先もあります。
- 大手旅行会社・航空会社のほとんどの社員がリモートワーク中（中小は出勤）、大手は会社よりスマホを貸与しており連絡に不自由はない。弊社サーバへのアクセス権を与えデータのやりとりもスムーズ
- JAL グループ、商船三井…TV 会議電話
- 直取引のクライアントですが、テレワークではない。
- 具体的には調べていませんが、主に外資系はほぼテレワーク。その他、大手メーカーもテレワークが多いと聞きます。
- 完全テレワークはないという認識（弊社得意先は、週の何日かのみテレワークを採用される企業・団体のみ、実施なしの企業もある）
- 高島屋本部は実施

- 「横浜ゴム」は 4 月中旬までテレワークで、電話とメールでのやり取りのみ。他のクライアントとも極力対面での打ち合わせはしないでメールや電話でやり取りをしていますが、テレワーク中かどうかはわかりません。いわゆる「Zoom」のようなシステムは使っていません。
 - コクヨ、サントリー、富士通は実施中
 - 制作会社系は実施していない企業多い。事業会社、上場企業は実施している割合が多い。ただし全社というよりも部署ごとで実施している印象。
 - ほとんどが部分的（部所内の数名）に実施！
 - 出版社等、校了日は全員出社で対応が多い
 - 新型コロナ以降、テレワークにシフトされていますが、VPN などの数が足りず、キャパが足りていないようです。
 - 大手クライアントは基本的にはテレワークになっていて、中小クライアントは様子見状況です
-

（雑記）

皆様、アンケートへのご協力ありがとうございました。おかげさまで、有意義な情報を共有できると思います。これから検討される会社の方は参考にしていただき、また既に実施しているところでも、こう改善すればと思えるところは、ぜひお試しください。

なお、このアンケートを編集しているのは 4 月 6 日（月）。緊急事態宣言がそろそろ出されそうなニュースが入ってきた状況です。

4 月 6 日（月）時点で、一部または全社で在宅勤務を行っている会社は、回答社数 32 社中、23 社。9 社が検討中という結果でした。

この間に、全ての会社がまずは前向きに捉えるためにも在宅勤務、テレワークでの経験値を蓄える時期にすることも必要かもしれません。今までの「当たり前」や「常識」も既に変化してきていますが、「働き方」も同様に変化していくと思われます。

先行してテレワークを行っている会社から、

「育児や介護など、どの社員でも起こりうる状況に備えられる」
「感染リスクが下がる。在宅でもちゃんと回る仕事が多いことの再確認」
「新しい働き方に取り組める」
「仕事とは何かという点を再度考えさせられる」
「都心にオフィスを構える必然性がない時代が早まる可能性を感じる」

そんな声も届きました。

収束後、「喉元過ぎれば…」でなければ、社会は変化していくかもしれません。
現在検討されている会社も、まずはトライしてみることをお勧めします。

もちろん、給与や社会保険関係、そして決算月などで総務系の業務に関しては機密上の関係で出社しなければ出来ないことも、今の段階ではあるかとは思います。また、デザインの仕事でもこの辺りは難しいと思える側面も出てくるかもしれません、やっていくうちに工夫して解決できるのかもしれません。まずは、やってみて、感じてみることが良いかと思います。

下記に新型コロナウイルスに対する情報（経済的支援情報・テレワーク※今回のアンケートに出てきたソフトや機器等情報も）をOACとしてまとめてみたので、こちらもご覧いただければ幸いです。

【新型コロナウイルス感染症に関する情報】

http://www.oac.or.jp/ns/2020/information_coronavirus.html

個人や会社にとっての最悪のケースは何かと、いま一度考えて、いま出来ることに手を打っておきましょう。確かな情報を入手しつつ、想像力を働かせ、みんなで乗り切っていきましょう！

2020年4月7日
公益社団法人 日本広告制作協会